

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JP979 U.S. P.
09/923846
08/07/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1996年 2月28日

出 願 番 号

Application Number:

平成 8年特許願第067278号

出 願 人

Applicant(s):

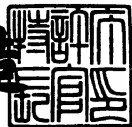
株式会社ハイパーネット

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 2月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3002048

【書類名】 特許願

【整理番号】 HY96001

【提出日】 平成 8年 2月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明の名称】 情報表示装置

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市多摩区堰1丁目24番5号 第2えびす
 コーボ301号

 【氏名】 筒井 雄一郎

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都世田谷区瀬田3丁目14番5号 メゾン用賀20
 2号

 【氏名】 板倉 雄一郎

【特許出願人】

 【識別番号】 594017237

 【氏名又は名称】 株式会社 ハイパーネット

 【代表者】 板倉 雄一郎

【代理人】

 【識別番号】 100105119

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 新井 孝治

 【電話番号】 03(3832)8501

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【物件名】 委任状（追って補充） 1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報表示装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、

当該情報表示装置に表示するメッセージを前記情報提供装置に要求する第1の要求手段と、

当該第1の要求手段からの要求に基づいて送信された第1のメッセージを表示する手段と、

前記第1の要求手段により要求した前記メッセージよりも前記情報表示装置の利用者に適した第2のメッセージを前記情報表示装置に要求する第2の要求手段と、

当該第2の要求手段からの要求に基づいて送信された第2のメッセージを表示する手段とを備えたことを特徴とする情報表示装置。

【請求項2】 インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、

前記情報提供装置から受信した第1のメッセージを表示する表示手段と、

前記表示手段により前記第1のメッセージを表示している状態で前記情報提供装置から第2のメッセージを受信する手段と、

前記表示手段の表示を前記第1のメッセージから前記第2のメッセージに切り替える切替手段とを備えたことを特徴とする情報提供装置。

【請求項3】 インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、

前記インターネットに対してPPP接続する通信モジュールを起動する手段と

前記インターネットのホームページを表示するインターネットブラウザを起動し前記通信モジュールによる前記PPP接続上でTCP/IP接続させる手段と

前記インターネットブラウザとは異なるポート番号を用いて、前記PPP上で

TCP/IP接続する手段とを備えたことを特徴とする情報表示装置。

【請求項4】 インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、

前記メッセージを前記情報提供装置から受信して表示する表示手段と、

当該表示手段により表示した前記メッセージの提供者の前記インターネット上のホームページを指定させるボタンを表示する手段と

、前記ボタンが押された場合に前記ホームページを示す情報を前記メッセージから読み出す手段と、

前記ホームページを示す情報を前記インターネットのインターネットブラウザに受け渡す手段とを備えたことを特徴とする情報表示装置。

【請求項5】 前記ホームページのアクセスがあったことを示す情報を前記情報提供装置に送信する手段を更に備えたことを特徴とする請求項4に記載の情報表示装置。

【請求項6】 インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、

前記メッセージを表示するメッセージビューワを表示する手段と、

前記メッセージビューワに同一のメッセージを表示している時間を計測するタイマと、

前記情報表示装置の利用者に適したメッセージを前記情報提供装置に要求する要求手段と、

前記要求手段からの要求に基づいて前記情報提供装置から送信された前記メッセージを受信して格納するバッファと、

前記タイマが所定の値をカウントしたときに、前記バッファに格納した前記メッセージを前記メッセージビューワに表示する手段とを備えたことを特徴とする情報表示装置。

【請求項7】 前記メッセージビューワが操作された場合に前記タイマのカウント値をリセットする手段を更に有することを特徴とする請求項6に記載の情報表示装置。

【請求項8】 前記メッセージ内の情報に対して利用者がアクセスした場合

に前記タイマのカウント値をリセットする手段を更に有することを特徴とする請求項 6 に記載の情報表示装置。

【請求項 9】 利用者の操作により他のメッセージが表示された場合に、前記バッファに格納した前記メッセージを保持する手段を更に備えたことを特徴とする請求項 6 に記載の情報表示装置。

【請求項 10】 インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、

前記メッセージに関連する資料を請求する資料請求ボタンを表示する手段と、
前記資料表示ボタンが押されたときに、当該情報表示装置の利用者の住所および氏名を前記情報提供装置に要求する手段と、

前記情報提供装置から受信した前記住所および前記氏名を表示する手段と、
前記住所および前記氏名を確認するデータを入力する入力手段と、

前記住所および前記氏名が確認された場合に、前記資料を前記住所および前記氏名で特定される送信先に送信させる情報を前記情報提供装置に送信する手段とを備えたことを特徴とする情報表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット等のネットワークから得られた情報を表示する表示装置および方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、インターネットやパソコン通信網を介して多くの情報が利用者に提供されている。利用者が所持するパソコン等の端末はモデムや電話回線網を介していわゆるプロバイダのコンピュータ（情報提供装置）に接続される。利用者は端末によりプロバイダの情報提供装置にアクセスする。これにより情報提供装置、または情報提供装置に接続されたインターネット若しくはパソコン通信網から情報を得ることができる。

【0003】

利用者の端末に提供された情報は、端末に備えられた表示器に表示される。利用者は、表示された情報をスクロールしたり、サブメニュー表示切り換えることができる。情報提供装置20から端末に送信された表示情報は、端末の表示器の単一の表示領域に表示される。情報提供装置20は、利用者が指定する表示情報と併せて広告等の付加的情報を提供する場合がある。従来の端末に提供される表示情報は、端末の表示器の単一の表示領域に表示されるのでため、付加的情報は、表示情報の一画面内に含められる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、利用者が端末の表示をスクロールすると付加的情報の表示が消えてしまうので、従来のシステムでは広告等の付加的情報を効率的に提供することが出来なかった。そこで本発明は、利用者に所望の表示情報を提供しつつ付加的情報を確実かつ効果的に提供することができる情報表示装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

このような目的を達成するために、請求項1に記載の発明はインターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、当該情報表示装置に表示するメッセージを前記情報提供装置に要求する第1の要求手段と、前記第1の要求手段により要求した前記メッセージよりも前記情報表示装置の利用者に適した第2のメッセージを前記情報表示装置に要求する第2の要求手段とを備えたことを特徴とする。

【0006】

請求項2に記載の発明は、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、前記情報提供装置から受信した第1のメッセージを表示する表示手段と、前記表示手段により前記第1のメッセージを表示しているときに前記情報提供装置から第2のメッセージを受信する手段と、前記表示手段の表示を前記第1のメッセージから前記第2のメッセージに切り替える切替手段とを備えたことを特徴とする。

【0007】

請求項3に記載の発明は、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、前記インターネットに対してPPP接続する通信モジュールを起動する手段と、前記インターネットのホームページを表示するインターネットブラウザを起動し前記通信モジュールによる前記PPP接続上でTCP/IP接続させる手段と、前記インターネットブラウザとは異なるポート番号を用いて、前記PPP上でTCP/IP接続する手段とを備えたことを特徴とする。

【0008】

請求項4に記載の発明は、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、前記メッセージを前記情報提供装置から受信して表示する表示手段と、当該表示手段により表示した前記メッセージの提供者の前記インターネット上のホームページを指定させるボタンを表示する手段と、前記ボタンが押された場合に前記ホームページを示す情報を前記メッセージから読み出す手段と、前記ホームページを示す情報を前記インターネットのインターネットブラウザに受け渡す手段とを備えたことを特徴とする。

【0009】

請求項5に記載の発明は、請求項4に記載の情報表示装置であって前記ホームページのアクセスがあったことを示す情報を前記情報提供装置に送信する手段とを更に備えたことを特徴とする。

【0010】

請求項6に記載の発明は、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、前記メッセージを表示するメッセージビューワを表示する手段と、前記メッセージビューワに同一のメッセージを表示している時間を計測するタイマと、前記情報表示装置の利用者に適したメッセージを前記情報提供装置に要求する要求手段と、前記要求手段からの要求に基づいて前記情報提供装置から送信された前記メッセージを受信して格納するバッファと、前記タイマが所定の値をカウントしたときに、前記バッファに格納した前記メッセージを前記メッセージビューワに表示する手段とを備えたことを

特徴とする。

【0011】

請求項7に記載の発明は、請求項6に記載の情報表示装置であって前記メッセージビューが操作された場合に前記タイマのカウンタ値をリセットする手段を更に有することを特徴とする。

【0012】

請求項8に記載の発明は、請求項6に記載の情報表示装置であって前記メッセージ内の情報に対して利用者がアクセスした場合に前記タイマのカウンタ値をリセットする手段を更に有することを特徴とする。

【0013】

請求項9に記載の発明は、請求項6に記載の情報表示装置であって利用者の操作により他のメッセージが表示された場合に、前記バッファに格納した前記メッセージを保持する手段を更に備えたことを特徴とする。

【0014】

請求項10に記載の発明は、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示装置であって、前記メッセージに関連する資料を請求する資料請求ボタンを表示する手段と、前記資料表示ボタンが押されたときに、当該情報表示装置の利用者の住所および氏名を前記情報提供装置に要求する手段と、前記情報提供装置から受信した前記住所および前記氏名を表示する手段と、前記住所および前記氏名を確認するデータを入力する入力手段と、前記住所および前記氏名が確認された場合に、前記資料を前記住所および前記氏名で特定される送信先に送信させる情報を前記情報提供装置に送信する手段とを備えたことを特徴とする。

【0015】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の実施の形態の一例を説明する。

（実施形態1）

図1は、本発明の情報表示システムの構成の一例を示すブロック図である。図1において、端末10はモデム16を介して公衆網18に接続されている。イン

ターネットのプロバイダが所有する情報提供装置20もまた公衆網18に接続されており、端末10および情報提供装置20は公衆網18を介して通信する。

【0016】

端末10は、例えばパソコンにより構成され本体14およびディスプレイ12を備える。図1では単一の端末10のみを示したが、多数の端末10が公衆網18を介して情報提供装置20に接続されても良い。端末10は、情報提供装置20のインターネットゲートウェイ22を介してインターネット32に接続することができる。端末10の利用者が指定したインターネット32のページ（画像を含む情報）が、インターネットゲートウェイ22を介して端末10に提供される。

【0017】

複数のメッセージ提供者30からメッセージ分配システム28に広告等の付加的情報（メッセージと呼ぶ）、各メッセージの送信条件、および各メッセージ提供者のインターネット上のホームページアドレスが提供される。メッセージは、静止画像、動画、音声、およびこれらの組合せのいずれであっても良い。メッセージ分配システム28は、メッセージ送信条件データベース36および利用者データベース34に接続されている。メッセージ送信条件データベース36は、各メッセージの送信条件を格納する。利用者データベース34は各端末10の利用者に関するデータを格納する。メッセージ分配システム28はメッセージ提供者30から提供されたメッセージにそのメッセージ提供者のホームページアドレスを示すデータを書き加えプロバイダの情報提供装置20に送信する。

【0018】

情報提供装置20のメッセージ管理装置24は、メッセージ分配システム28から受け取ったメッセージを、当該メッセージの識別番号（URL）に対応付けてメッセージデータベース26に格納する。メッセージ管理装置24は、端末10からの要求に基づいてメッセージデータベース26から読み取ったメッセージを端末10に送信する。複数のプロバイダの複数の情報提供装置20が公衆網18に接続されていても良い。この場合は、利用者はいずれの情報提供装置20に接続しても良い。

【0019】

図2は、メッセージ送信条件データベース36の構成を示す説明図である。メッセージ送信条件データベース36には各メッセージとそのメッセージを送信すべき条件とが関連付けられて格納されている。即ちメッセージ送信条件データベース36は、各メッセージを識別するメッセージURL、各利用者に対する表示頻度の制限、全利用者に対する表示頻度の制限、表示時刻、表示すべき利用者の年齢範囲、性別、婚歴、職種、住所等に対応付けて格納する。

【0020】

図3は、利用者データベース34の構成を示す説明図である。各利用者は、例えばメッセージ管理装置20から情報を受け取るためのメッセージビューワを最初に使用する際、またはメッセージビューワのプログラムを端末10にインストールする際に、当該利用者に関する情報を入力する。利用者に関する情報としては、例えば利用者の氏名、住所、性別、年齢、職種、収入、趣味等の情報が該当する。端末10は、利用者に関する情報を情報提供装置20に送信する。情報提供装置20は利用者から受信した情報をメッセージ分配システム28に送信する。メッセージ分配システム28は、情報提供装置20から受け取った情報を利用者データベースに格納する。図3に示すように、本実施形態では利用者データベース34に利用者ID（氏名）、パスワード、生年月日、性別、婚歴、職種、および住所が格納される。

【0021】

図4は、本体14のハードウェア構成を示すブロックである。図4において、CPU40はROM42およびRAM44に格納されたプログラムに基づいて動作する。タイマ46は所定の時間をカウントする。入力装置48を介して利用者からデータが入力される。ハードディスク50は画像等のデータおよびプログラムを格納する。フロッピーディスクドライブ52はフロッピーディスク56からデータまたはプログラムを読み取りCPU40に提供する。CD-ROMドライブ54はCD-ROM58からデータまたはプログラムを読み取りCPU40に提供する。さらに本体14は、モデム16に接続するためのモデムインターフェースおよびディスプレイ12に接続するためのディスプレイインターフェースを

備える。

【0022】

図5は、CPU40が実行するソフトウェアの機能構成を示すブロック図である。これらのソフトウェアは、CD-ROM58またはフロッピーディスク56等の記録媒体に格納されて利用者に提供される。記録媒体に格納されたソフトウェアは圧縮されていても非圧縮であっても良い。記録媒体によって提供されたソフトウェアはハードディスク50にインストールされる。ハードディスク50にインストールされたソフトウェアはRAM44に読み出されて実行される。ソフトウェアは、PPPドライバ70およびTCP/IPドライバ72を有する通信モジュール73と、インターネットブラウザ74と、メッセージ表示モジュール76とを含む。メッセージ表示モジュール76は、初期化タスク78とメッセージリクエストタスク80と周期表示タスク82とメッセージ表示タスク84とを有する。

【0023】

図6は、ディスプレイ12に表示される画面の例を示す説明図である。ディスプレイ12にはインターネットブラウザ74のウィンドウ（インターネットブラウザウィンドウ）60およびメッセージビューワ76のウィンドウ（メッセージビューワウィンドウ）62が開かれる。インターネットブラウザウィンドウ60にはインターネット32から受信したページが表示される。インターネットブラウザ74としては例えばネットスケープ（商標）またはモザイク（商標）等を使用することができる。

【0024】

メッセージビューワウィンドウ62には情報提供装置20から受信したメッセージが表示される。メッセージビューワウィンドウ62は、ホームページボタン64および資料請求ボタン66を有する。ホームページボタン64が押されると、メッセージビューワウィンドウ62に表示されているメッセージに対応するホームページがインターネットブラウザウィンドウ60に表示される。資料請求ボタン66が押されると、メッセージビューワウィンドウ62に表示されているメッセージ対応する資料が利用者に送信される。メッセージビューワウィンドウ6

2は所定の期間、例えば1分毎に新たなメッセージを表示する。

【0025】

図7から図11を用いて、メッセージ表示モジュール76の各タスク78～84の動作を説明する。

図7、8は、初期化タスク78の動作を示すフローチャートである。メッセージ表示モジュール76が入力装置48からの入力により起動されると初期化タスク78が動作を開始する。初期化タスク78は、まず通信モジュール73を起動する(S10)。通信モジュール73により情報提供装置20との間にPPP接続が行われると(S12)、初期化タスク78はインターネットブラウザ74を起動する(S14)。またメッセージ表示モジュール76のアプリケーション番号を用いて、TCP/IPドライバ72によりTCP/IP接続する(S16)。

【0026】

次に情報提供装置20からアプリケーションの種類について問い合わせが行われるのを待つ(S18)。情報提供装置20から問い合わせがあると初期化タスク78は、自己がメッセージ表示モジュールであることを示す信号を送信する(S18)。次いで初期化タスク78は簡易情報リクエストを送信する(S24)。簡易情報リクエストは、端末10に対して早くメッセージを送信することを要求する信号である。メッセージ管理装置24は、簡易情報リクエストを受信すると適当なメッセージのURLをメッセージデータベース26から選択して端末10に送信する。端末10は、最初のメッセージを示すURLを受信し(S26)、受信したURLにより特定される画像を要求する(S28)。

【0027】

簡易情報リクエストに対しては、利用者データベース34に格納した利用者データに対応するメッセージを検索しない。このため最初のメッセージが表示されるまでの時間を短縮し、メッセージビューワウィンドウ62に何も表示されないう時間を短縮することができる。但し他の実施形態としては、簡易データリクエストがあったときに利用者データの一部に基づいてメッセージを検索しても良い。メッセージの検索条件を簡易にすることにより、早くメッセージを検索するこ

とができる。次に初期化タスク78はメッセージリクエストタスク80をスタートし(S30)、周期表示タスク82をスタートし(S32)、更にメッセージ表示タスク84をスタートして(S34)初期化動作を終了する。

【0028】

図9は、メッセージリクエストタスク80の動作を示すフローチャートである。メッセージリクエストタスク80は、まずメッセージリクエストを送信して端末10の利用者に適したメッセージを要求する(S40)。情報提供装置20は受信したメッセージリクエストをメッセージ分配システム28に送信する。メッセージ分配システム28は、メッセージリクエストを受信すると、利用者データベース34から当該利用者の生年月日、性別、婚歴、職種、および住所を読み出す。

【0029】

次にメッセージ分配システム28は、読み出した利用者データに該当するメッセージを送信条件データベース36から検索する。検索したメッセージの識別情報(URL)を情報提供装置20に送信する。簡易メッセージリクエストに対しては情報提供装置20が早くURLを選択して送信したのに対してメッセージリクエストに対しては利用者のデータに適したメッセージのURLを検索して送信する。情報提供装置20は受信したURLを端末10に送信する。端末10は受信したURLをキューに積む(S42)。次に端末10はキューに空きが有るかどうかを確認して(S44)、空きがなければ空きができるまで待機する(S44)。キューに空きが有ればS40に戻り再度メッセージリクエストを送信する。

【0030】

図10は、周期表示タスク82の動作を示すフローチャートである。周期表示タスク82はまずタイマをスタートさせる(S50)。タイマにはメッセージビュー62に表示するメッセージの変更周期に対応するカウント数が予め設定されている。次に周期表示タスクはキューにURLが有るかどうかを判断する(S52)。URLが無ければURLが積まれるまで待機する(S52)。キューにURLがあると(S52)URLに対応するメッセージを要求する(S54)。

ここでは、仮にメッセージとして画像を送信することとする。周期表示タスク 82 は、画像を受信すると受信したメッセージを RAM 44 またはハードディスク 50 に設けたメッセージバッファに蓄積する (S56)。

【0031】

メッセージを表示中に次のメッセージを受信するので、メッセージを受信している間に利用者を待機させることなく、連続して次の画像を表示することができる。特にインターネットのトラフィックが増大してメッセージの取得開始までの時間が遅延した場合であっても、利用者が遅延を感じることを防ぐことができる。次に周期表示タスク 82 はタイマ 46 がカウントアップされているか否かを判断する (S58)。

【0032】

タイマ 46 がカウンタアップしていればメッセージバッファに格納したメッセージをメッセージビューウィンドウ 62 に表示する (S60)。予めメッセージバッファに格納したメッセージを表示するので、従来のようにメッセージが徐々に変化するのではなく、瞬間的に次のメッセージを表示することができる。次に周期表示タスク 82 はタイマ 46 のカウント値をリセットし (S62) S52 に戻る。S58 においてタイマ 46 がカウントアップされていなければ、他のタスクからタイマ 46 のクリアが要求されているか否かを判断する (S64)。タイマ 46 のクリアが要求されていればタイマ 46 をリセットしてカウンタ値をクリアし (S66)、S58 に戻る。S64 においてタイマ 46 のクリアが要求されていなければそのまま S58 に戻る。

【0033】

図 11 は、メッセージ表示タスク 84 の動作を示すフローチャートである。メッセージ表示タスク 84 は、まずメッセージの中に設けられたボタンまたはメッセージビュー 62 のボタンが押されたか否かを判断する (S70)。これらのボタンが押されていなければボタンが押されるまで待つ (S70)。ボタンが押されると周期表示タスク 82 にタイマのクリアを要求する (S72)。次に押されたボタンが何であるかを判断する (S74)。

【0034】

ここでメッセージビューワ62内のボタンの種類はメッセージビューワ62の表示プログラムにより判断する。メッセージを標準のHTMLに基づいて作成する場合には、当該ボタンのリンクデータに対応付けて記載されたコメント文によりメッセージ内のボタンの種類を判断する。より具体的には、当該ボタンのリンクデータの直前に記載したコメント文の内容によりボタンの種類を判断する。但し他の実施形態としてはリンクデータに対応付けて記載したバイナリデータ（キャラクタコードとしては用いられないデータ）によりボタンの種類を判断しても良い。

【0035】

S74において、押されたボタンが資料請求ボタン66であればメッセージ表示タスク84は情報提供装置20に対して利用者の情報を要求する。情報提供装置20のメッセージ管理装置24は、メッセージ分配システム28から利用者の住所および氏名を受信して端末10に返送する。メッセージ表示タスク84は受け取った住所および氏名を表示して利用者に確認を促す（S76）。利用者から確認が得られなければ確認が得られるまで待つ。利用者から確認が得られると（S78）、押された資料請求ボタン66を示すデータを情報提供装置20に送信する（S80）。

【0036】

S74において、押されたボタンがホームページボタン64であると表示されていたメッセージに対応するURLを示すデータをメッセージ中から読み取りインターネットブラウザ60に渡す（S82）。次にホームページのアクセスがあったことを情報提供装置20に通知する（S84）。このため情報提供装置20は、どのメッセージに対して利用者からの応答が合ったかを知ることができる。インターネットブラウザ60は、インターネット32の指定されたページがハードディスク50に格納されているかどうかを判断する。ハードディスク50にそのページが格納されていなければモデム16を通じて指定されたページを読み出す。読み出されたページをハードディスク50に格納すると共にディスプレイ12に表示する。

【0037】

S74においてその他のボタンが押されていれば押されたボタンを示す情報を情報送信装置20に送信する(S86)。そして押されたボタンに対応するメッセージを情報送信装置20から受信する(S88)。受信したメッセージを画面12に表示する(S90)。このとき、メッセージバッファに格納してあるメッセージはクリアしない。メッセージリクエストタスク80および周期表示タスク82はメッセージ表示タスク84とは独立して並行動作するので、利用者の操作により指定されたメッセージが表示された場合であっても、タイマのカウンタアップ時に瞬時に、バッファに格納されたメッセージを瞬時に表示することができる。

【0038】

(その他)

タイマ46は、CPU40と一体となっても良い。タイマ46のカウンタをハードウェアまたはソフトウェアにより分周した値を上記実施例におけるタイマのカウンタ値として使用しても良い。タイマに対するカウンタ値はソフトウェアのパラメータとして設定しても良い。

【0039】

フロッピーディスク56またはCD-ROM58には、本出願で説明したフローチャートの一部または全ての機能を格納することができる。これらのプログラムは記録媒体から直接RAM44に読み出されて実行されても良い。記録媒体(デバイス)としては、フロッピーディスク56、CD-ROM58の他にも、DVD等の光学記録媒体、MD等の磁気記録媒体、PD等の光磁気記録媒体、テープ媒体、磁気記録媒体、ICカードやミニチュアカードなどの半導体メモリ等を用いることができる。メッセージ表示モジュール76の機能を格納した記録媒体は、端末10を製造する為のみ使用されるものであり、記録媒体の業としての製造や販売等が本出願に基づく特許権の侵害を構成することは明らかである。

【0040】

以上の実施形態により、実施形態の記載の発明の上位概念としては以下の方法が提供された。

1. インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して端末

のディスプレイに表示する情報表示方法であって、

前記ディスプレイに表示するメッセージを前記情報提供装置に要求する第1の要求ステップと、

当該第1の要求ステップに基づいて送信された第1のメッセージを表示するステップと、

前記第1の要求ステップにより要求した前記メッセージよりも前記ディスプレイの利用者に適した第2のメッセージを前記情報提供装置に要求する第2の要求ステップと、

当該第2の要求ステップに基づいて送信された第1のメッセージを表示するステップと、を備えたことを特徴とする情報表示方法。

【0041】

2. インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信してディスプレイに表示する情報表示方法であって、

前記ディスプレイから受信した第1のメッセージを表示する表示ステップと、

前記第1のメッセージを表示している状態で前記情報提供装置から第2のメッセージを受信するステップと、

前記表示ステップの表示を前記第1のメッセージから前記第2のメッセージに切り替える切替ステップとを備えたことを特徴とする情報提供方法。

【0042】

3. インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示方法であって、 前記インターネットに対してPPP接続する通信モジュールを起動するステップと、 前記インターネットのホームページを表示するインターネットブラウザを起動し前記通信モジュールによる前記PPP接続上でTCP/IP接続させるステップと、 前記インターネットブラウザとは異なるポート番号を用いて、前記PPP上でTCP/IP接続するステップとを備えたことを特徴とする情報表示方法。

【0043】

4. インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して表示する情報表示方法であって、

前記メッセージを前記情報提供装置から受信して表示する表示ステップと、
当該表示ステップにより表示した前記メッセージの提供者の前記インターネット上のホームページを指定させるボタンを表示するステップと

前記ボタンが押された場合に前記ホームページを示す情報を前記メッセージから読み出すステップと、

前記ホームページを示す情報を前記インターネットのインターネットブラウザに受け渡すステップとを備えたことを特徴とする情報表示方法。

【0044】

5. 項目4に記載の情報表示方法であって、前記ホームページのアクセスがあったことを示す情報を前記情報提供装置に送信するステップを更に備えたことを特徴とする情報表示方法。

6. インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して端末のディスプレイに表示する情報表示方法であって、

前記メッセージを表示するメッセージビューワを表示するステップと、

前記メッセージビューワに同一のメッセージを表示している時間をタイマにより計測するステップと、

前記端末の利用者に適したメッセージを前記情報提供装置に要求する要求ステップと、

前記要求ステップからの要求に基づいて前記情報提供装置から送信された前記メッセージを受信してバッファに格納するステップと、

前記タイマが所定の値をカウントしたときに、前記バッファに格納した前記メッセージを前記メッセージビューワに表示するステップとを備えたことを特徴とする情報表示方法。

【0045】

7. 前記メッセージビューワが操作された場合に前記タイマのカウント値をリセットするステップを更に有することを特徴とする項目6に記載の情報表示方法

8. 前記メッセージ内の情報に対して利用者がアクセスした場合に前記タイマ

のカウンタ値をリセットするステップを更に有することを特徴とする項目6に記載の情報表示方法。

9. 利用者の操作により他のメッセージが表示された場合に、前記バッファに格納した前記メッセージを保持するステップを更に備えたことを特徴とする項目6に記載の情報表示方法。

【0046】

10. インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信して端末のディスプレイに表示する情報表示方法であって、

前記メッセージに関連する資料を請求する資料請求ボタンを表示するステップと、

前記資料表示ボタンが押されたときに、当該端末の利用者の住所および氏名を前記情報提供装置に要求するステップと、

前記情報提供装置から受信した前記住所および前記氏名を表示するステップと

、
前記住所および前記氏名を確認するデータを入力する入力ステップと、

前記住所および前記氏名が確認された場合に、前記資料を前記住所および前記氏名で特定される送信先に送信させる情報を前記情報提供装置に送信するステップとを備えたことを特徴とする情報表示方法。

【0047】

また上記実施形態によれば、実施形態の記載の発明の上位概念として以下のデバイスが提供された。

1. コンピュータのCPUに働きかけることにより、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信させて、受信したメッセージを画面に表示させる機能を備えたデバイスであって、

前記CPUに働きかけて、前記情報表示装置に表示するメッセージを前記情報提供装置に要求させる第1の要求手段と、

前記CPUに働きかけて、前記第1の要求手段により要求した前記メッセージよりも前記情報表示装置の利用者に適した第2のメッセージを前記情報表示装置に要求させる第2の要求手段とを備えたことを特徴とするデバイス。

【0048】

2. コンピュータのCPUに働きかけることにより、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信させて、受信したメッセージを画面に表示させる機能を備えたデバイスであって、

前記CPUに働きかけて、前記情報提供装置から受信した第1のメッセージを表示させる表示手段と、

前記CPUに働きかけて、前記表示手段により前記第1のメッセージを表示しているときに前記情報提供装置から第2のメッセージを受信させる手段と、

前記CPUに働きかけて、前記表示手段の表示を前記第1のメッセージから前記第2のメッセージに切り替えさせる切替手段とを備えたことを特徴とするデバイス。

【0049】

3. コンピュータのCPUに働きかけることにより、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信させて、受信したメッセージを画面に表示させる機能を備えたデバイスであって、

前記CPUに働きかけて、前記インターネットに対してPPP接続する通信モジュールを起動させる手段と、

前記CPUに働きかけて、前記インターネットのホームページを表示するインターネットブラウザを起動し前記通信モジュールによる前記PPP接続上でTCP/IP接続させる手段と、

前記CPUに働きかけて、前記インターネットブラウザとは異なるポート番号を用いて、前記PPP上でTCP/IP接続させる手段とを備えたことを特徴とするデバイス。

【0050】

4. コンピュータのCPUに働きかけることにより、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信させて、受信したメッセージを画面に表示させる機能を備えたデバイスであって、

前記CPUに働きかけて、前記メッセージを前記情報提供装置から受信して表示させる表示手段と、

前記CPUに働きかけて、当該表示手段により表示した前記メッセージの提供者の前記インターネット上のホームページを指定させるボタンを表示させる手段と、

前記CPUに働きかけて、前記ボタンが押された場合に前記ホームページを示す情報を前記メッセージから読み出させる手段と、

前記CPUに働きかけて、前記ホームページを示す情報を前記インターネットのインターネットブラウザに受け渡させる手段とを備えたことを特徴とする情報表示装置。

【0051】

5. 項目4に記載のデバイスであって、前記CPUに働きかけて、前記ホームページのアクセスがあったことを示す情報を前記情報提供装置に送信させる手段を更に備えたことを特徴とするデバイス。

6. コンピュータのCPUに働きかけることにより、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信させて、受信したメッセージを画面に表示させる機能を備えたデバイスであって、

前記CPUに働きかけて、前記メッセージを表示するメッセージビューワを表示させる手段と、

前記CPUに働きかけて、前記メッセージビューワに同一のメッセージを表示している時間を計測させるタイマと、

前記CPUに働きかけて、前記情報表示装置の利用者に適したメッセージを前記情報提供装置に要求させる要求手段と、

前記CPUに働きかけて、前記要求手段からの要求に基づいて前記情報提供装置から送信された前記メッセージを受信して格納させるバッファと、

前記CPUに働きかけて、前記タイマが所定の値をカウントしたときに、前記バッファに格納した前記メッセージを前記メッセージビューワに表示させる手段とを備えたことを特徴とするデバイス。

【0052】

7. 前記CPUに働きかけて、前記メッセージビューワが操作された場合に、前記タイマのカウント値をリセットさせる手段を更に有することを特徴とする項

目 6 に記載のデバイス。

8. 前記 CPU に働きかけて、前記メッセージ内の情報に対して利用者がアクセスした場合に前記タイマのカウント値をリセットさせる手段を更に有することを特徴とする項目 6 に記載のデバイス。

9. 前記 CPU に働きかけて、利用者の操作により他のメッセージが表示された場合に、前記バッファに格納した前記メッセージを保持させる手段を更に備えたことを特徴とする項目 6 に記載のデバイス。

【0053】

10. コンピュータの CPU に働きかけることにより、インターネットに接続された情報提供装置からメッセージを受信させて、受信したメッセージを画面に表示させる機能を備えたデバイスであって、

前記 CPU に働きかけて、前記メッセージに関連する資料を請求する資料請求ボタンを表示させる手段と、

前記 CPU に働きかけて、前記資料表示ボタンが押されたときに、当該情報表示装置の利用者の住所および氏名を前記情報提供装置に要求させる手段と、

前記 CPU に働きかけて、前記情報提供装置から受信した前記住所および前記氏名を表示させる手段と、

前記 CPU に働きかけて、前記住所および前記氏名を確認するデータを入力させる入力手段と、

前記 CPU に働きかけて、前記住所および前記氏名が確認された場合に、前記資料を前記住所および前記氏名で特定される送信先に送信させる情報を前記情報提供装置に送信させる手段とを備えたことを特徴とするデバイス。

【0054】

以上発明の実施の形態を説明したが、本出願に係る発明の技術的範囲は上記の実施の形態に限定されるものではない。上記実施の形態に種々の変更を加えて、特許請求の範囲に記載の発明を実施することができる。そのような発明が本出願に係る発明の技術的範囲に属することは、特許請求の範囲の記載から明らかである。

【0055】

【発明の効果】

以上の説明から明らかなように、本発明によれば広告等の付加的情報（メッセージ）をインターネットブラウザとは異なるウィンドウに表示することができる。従って利用者が端末の表示をスクロールした場合でも付加的情報の表示が消えてしまうことを避けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の情報表示システムの本実施形態における構成を示すブロック図である。

【図2】

メッセージデータベース26の構成を示す説明図である。

【図3】

利用者データベース34の構成を示す説明図である。

【図4】

本体14のハードウェア構成を示すブロック図である。

【図5】

CPU40が実行するソフトウェアの機能構成を示すブロック図である。

【図6】

ディスプレイ12に表示される画面の例を示す説明図である。

【図7】

初期化タスク78の動作を示すフローチャートである。

【図8】

初期化タスク78の動作を示すフローチャートである。

【図9】

メッセージリクエストタスク80の動作を示すフローチャートである。

【図10】

周期表示タスク82の動作を示すフローチャートである。

【図11】

メッセージ表示タスク84の動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

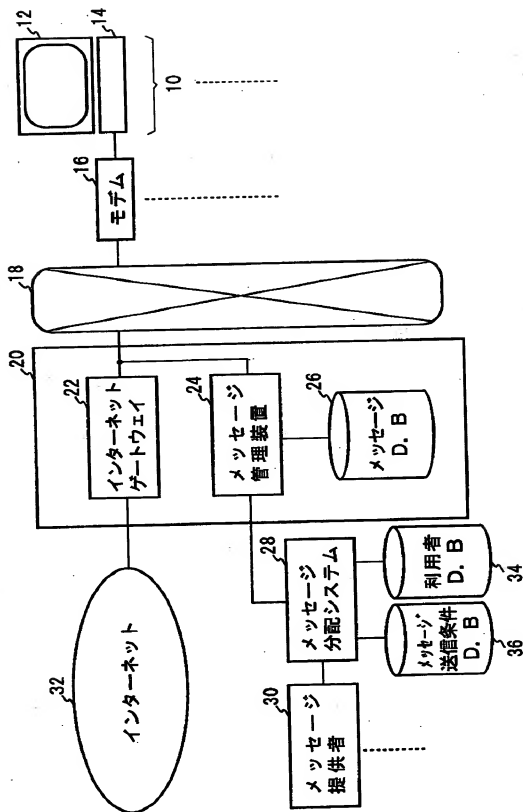
- 10 端末
- 12 ディスプレイ
- 14 本体
- 16 モデム
- 18 公衆網
- 20 情報提供装置
- 22 インターネットゲートウェイ
- 24 メッセージ管理装置
- 26 メッセージデータベース
- 28 メッセージ分配システム
- 30 メッセージ提供者
- 32 インターネット
- 34 利用者データベース
- 36 メッセージ送信条件データベース
- 40 CPU
- 42 ROM
- 44 RAM
- 46 タイマ
- 48 入力装置
- 50 ハードディスク
- 52 フロッピーディスクドライブ
- 54 CD-ROMドライブ
- 56 フロッピーディスク
- 58 CD-ROM
- 60 インターネットブラウザ
- 62 メッセージビューワ
- 64 ホームページボタン
- 66 資料請求ボタン

- 66 ホームページボタン
- 70 PPPドライバ
- 72 TCP/IPドライバ
- 73 通信モジュール
- 74 インターネットブラウザ
- 76 メッセージ表示モジュール
- 78 初期化タスク
- 80 メッセージリクエストタスク
- 82 周期表示タスク
- 84 メッセージ表示タスク

【書類名】

【図 1】

図面



【図2】

メッセージ送信条件データベース36

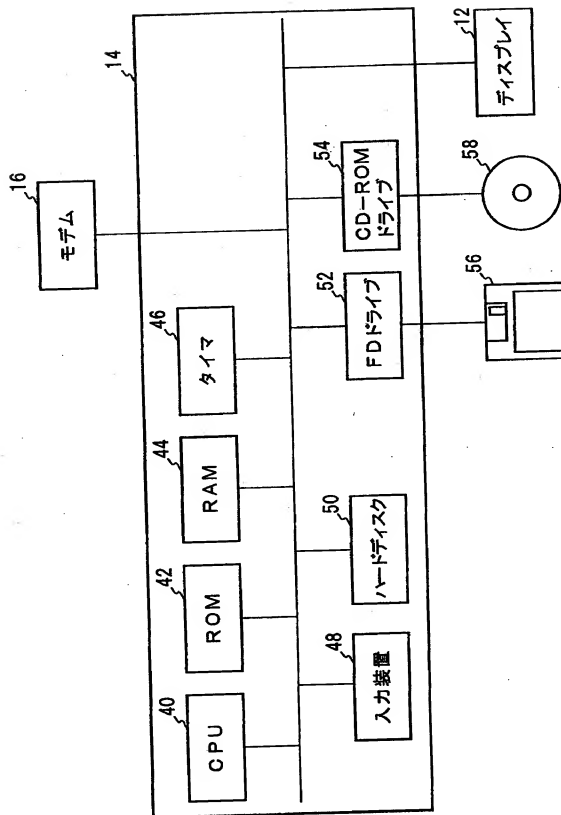
メッセージURL	個別制限 回数種別	個別制限 回数種別	総制限 回数種別	総制限 回数種別	表示時刻	年齢範囲	性別	婚歴	職種	住所
---	日	3 (回)	日	1000 (回)	---	18~22才	男	未婚	会社員	東京都
---	全合計	10 (回)	月	10000 (回)	---	---	女	既婚	学生	神奈川
---					1998.1.1/12:00					

【図3】

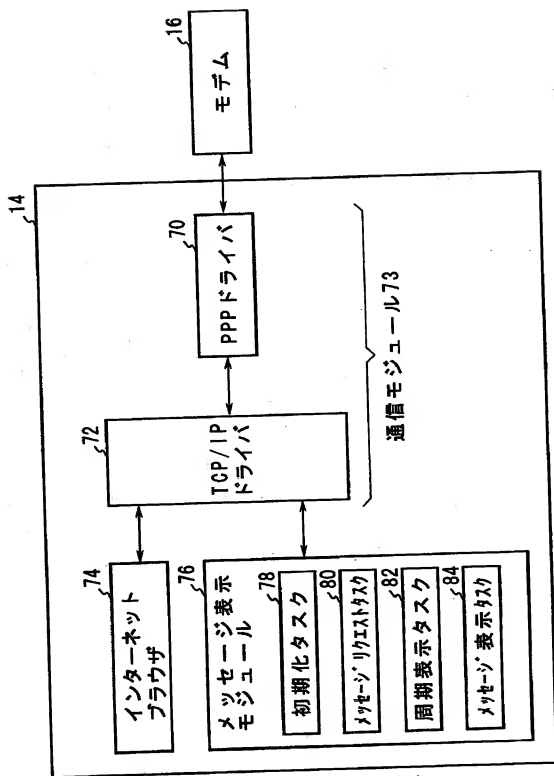
利用者データベース34

利用者ID	パスワード	生年月日	性別	婚歴	職種	住所
-----	-----	1988.6.2	男	未婚	会社員	東京都新宿区
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

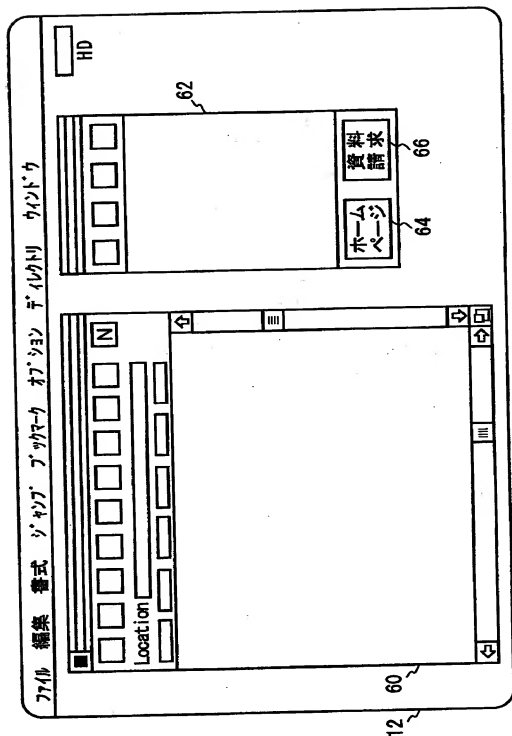
【図4】



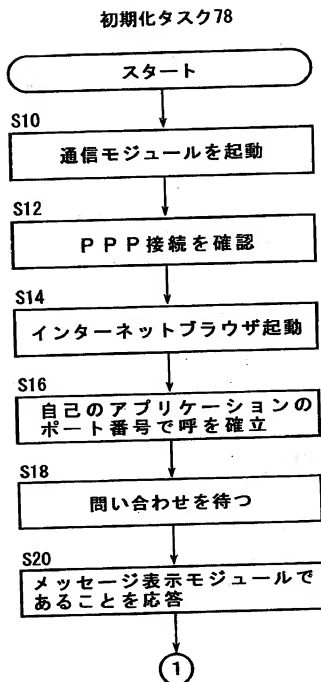
【図5】



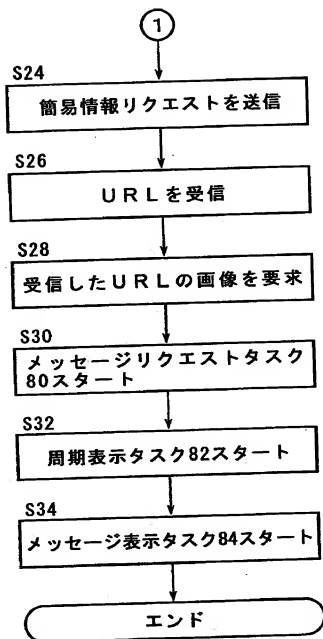
【図6】



【図7】

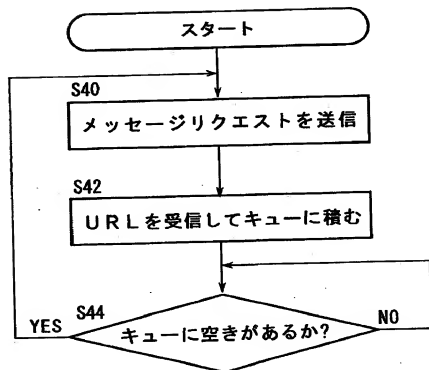


【図8】



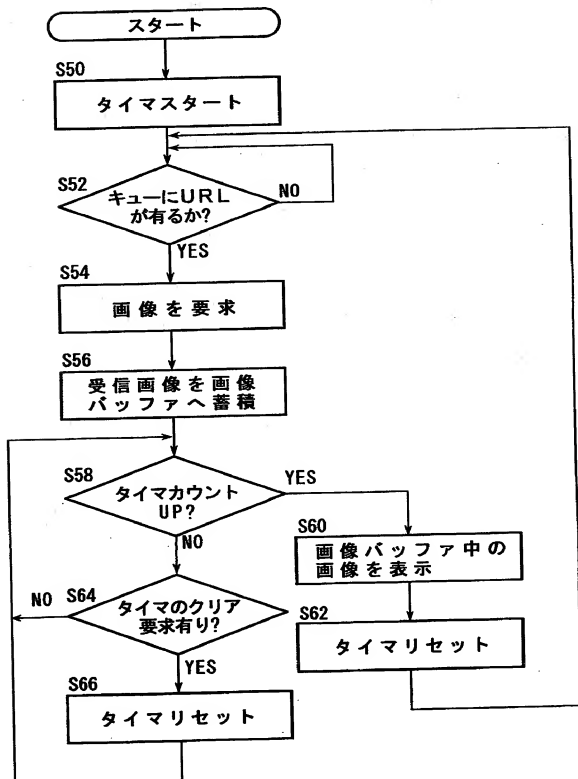
【図9】

メッセージリクエストタスク80



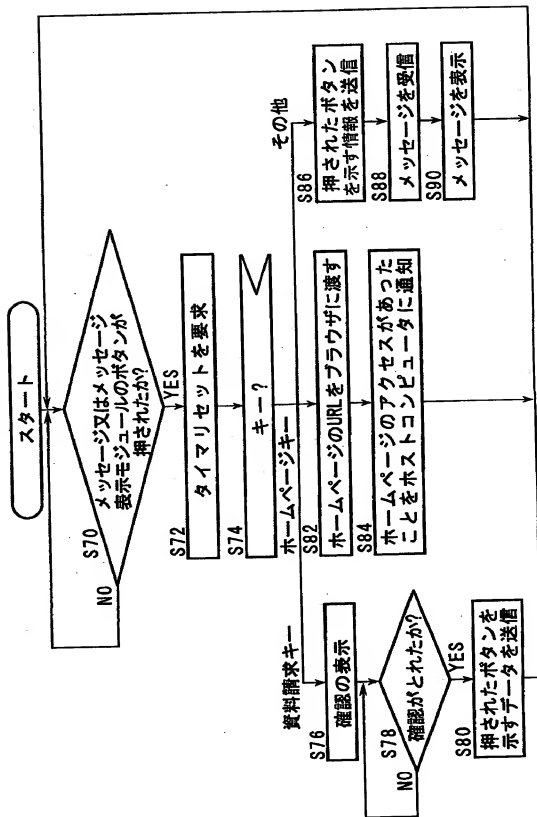
【図10】

周期表示タスク82



【図11】

メッセージ表示タスク84



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 利用者が必要とする情報を検索して表示することのできる情報表示装置を提供すること。

【解決手段】 ネットワーク（３２）に接続された情報提供装置（２０）からメッセージを受信して表示する情報表示装置（１０）であって、当該情報表示装置（１０）に表示するメッセージを前記情報提供装置に要求する第１の要求手段と、当該第１の要求手段からの要求に基づいて送信された第１のメッセージを表示する手段と、前記第１の要求手段により要求した前記メッセージよりも前記情報表示装置の利用者に適した第２のメッセージを前記情報表示装置に要求する第２の要求手段と当該第２の要求手段からの要求に基づいて送信された第２のメッセージを表示する手段とを備えた。

【選択図】 図１

【書類名】
【訂正書類】

職権訂正データ
特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】

594017237

【住所又は居所】

東京都渋谷区渋谷3-6-2 第2矢木ビル4階

【氏名又は名称】

株式会社ハイパーネット

【代理人】

申請人

【識別番号】

100105119

【住所又は居所】

東京都台東区東上野3丁目10番10号 テックビル5階

【氏名又は名称】

新井 孝治

【書類名】 手続補正書

【提出日】 平成 8年 5月10日

【あて先】 特許庁長官殿

【事件の表示】

【出願番号】 平成 8年特許願第 67278号

【補正をする者】

【事件との関係】 特許出願人

【識別番号】 594017237

【氏名又は名称】 株式会社ハイパーネット

【代理人】

【識別番号】 100105119

【弁理士】

【氏名又は名称】 新井 孝治

【電話番号】 03(3832)8501

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許願

【補正対象項目名】 委任状

【補正方法】 追加

【補正の内容】

【提出物件の目録】

【物件名】 委任状 1

19608601256



委 任 状

平成8年2月28日

私は、識別番号100105119弁理士 新井 孝治氏をもって代理人として下記事項を委任します。

記

1. 特許出願又は特許に関する一切の件並びに本件に関する放棄若しくは取下げ、出願変更、拒絶査定不服の審判の請求並びに取下げ。
2. 上記出願に基づく「特許法第41条第1項及び実用新案法第8条第1項」の優先権主張並びにその取下げ。
3. 上記出願の分割出願に関する一切の件並びに本件に関する上記事項一切。
4. 上記出願に関する審査請求、優先審査に関する事情証明書の提出、刊行物の提出、実用新案技術評価の請求、証明の請求及び上記出願または審判請求に関する物件の下附を受けること。
5. 第1項に関する通常実施権許諾の裁定請求、裁定取消請求並びにそれ等に対する答弁、取下げ其他本件に関する提出書類及び物件の下附を受けること。
6. 上記各項に関し行政不服審査法に基づく訴手続を為すこと。
7. 上記事項を処理する為、復代理人を委任及び解任すること。

住所 東京都渋谷区渋谷3-6-2 第2欠木ビル4階
名称 株式会社ハイパーネット
代表者 板倉 雄一郎



【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 手続補正書

<認定情報・付加情報>

【補正をする者】

【識別番号】 594017237

【住所又は居所】 東京都渋谷区渋谷3-6-2 第2矢木ビル4階

【氏名又は名称】 株式会社ハイパーネット

【代理人】 申請人

【識別番号】 100105119

【住所又は居所】 東京都台東区東上野3丁目10番10号 テックビル5階

【氏名又は名称】 新井 孝治

【提出された物件の記事】

【提出物件名】 委任状（代理権を証明する書面） 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[594017237]

1. 変更年月日 1994年 1月27日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都渋谷区渋谷3-17-4 アクシーズ7号館2F
氏 名 株式会社ハイパーネット
2. 変更年月日 1996年 4月 8日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都渋谷区渋谷3-6-2 第2矢木ビル4階
氏 名 株式会社ハイパーネット
3. 変更年月日 1997年 8月14日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都渋谷区桜丘町20番1号
氏 名 株式会社ハイパーネット